

「次期港区基本計画策定への区民参画会議ガイド」の作成について

みなとタウンフォーラム及び各地区区民参画組織（以下「みなとタウンフォーラム等」といいます。）の実施に当たり、「次期港区基本計画策定への区民参画会議ガイド」を作成しました。

1 経緯

前回のみなとタウンフォーラムの実施時に、参加メンバーから、「区としての考え方が示されない中で自由に議論するのはどうか」という意見をいただいたため、今回、より効果的・効率的な議論ができるよう、区の現状や社会動向をまとめた「次期港区基本計画策定への区民参画会議ガイド」を作成しました。

2 今後の進め方

みなとタウンフォーラムの実施に当たって、「次期港区基本計画策定への区民参画会議ガイド」を作成し、9月4日の全体会で参加メンバーに示します。

みなとタウンフォーラム等の提言を踏まえ、区が目指す令和8年度末の将来像や策定に向けた基本姿勢を示すものとして、港区基本計画策定方針は、令和2年5月に作成することとします。

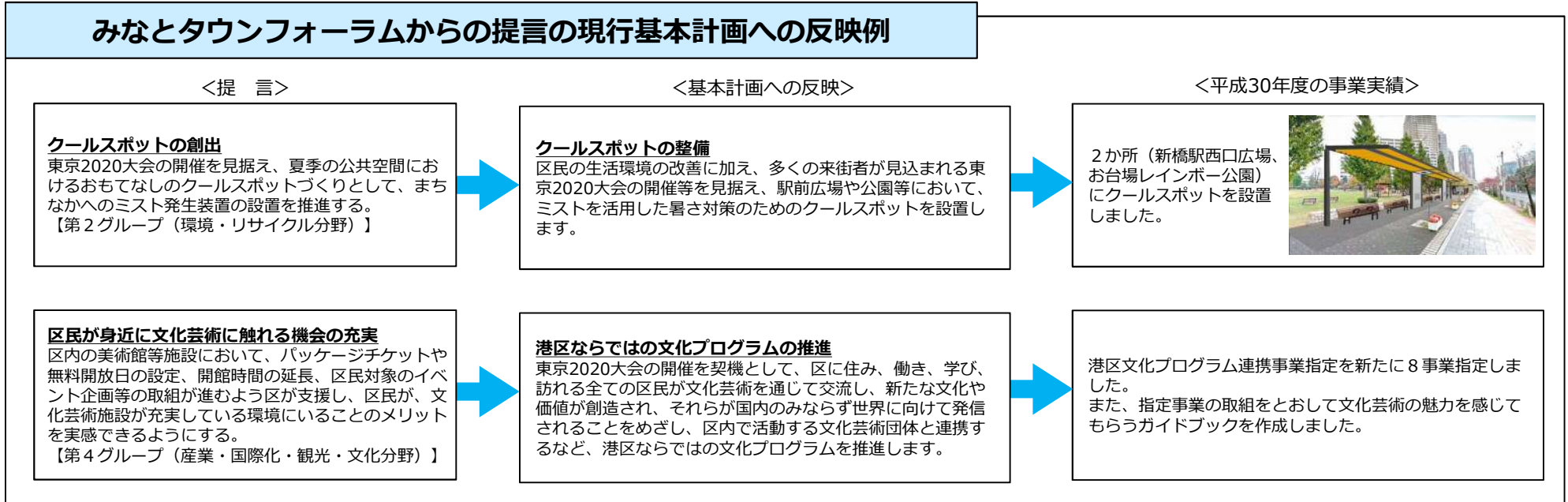
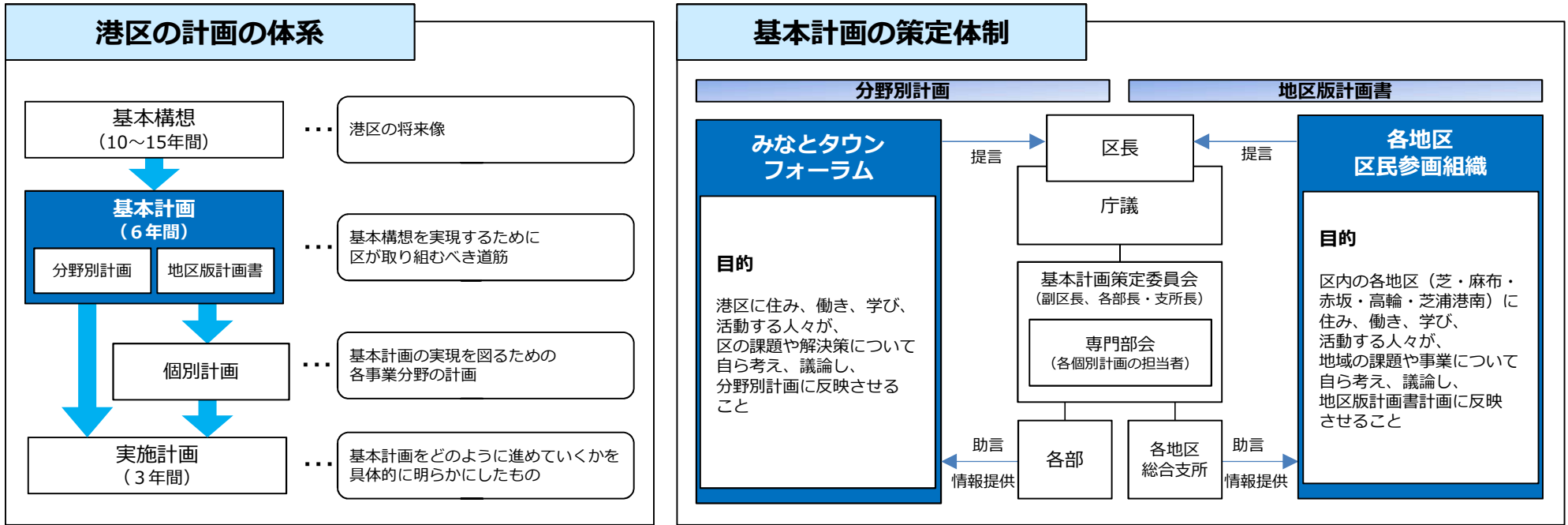
3 「次期港区基本計画策定への区民参画会議ガイド」の内容

人口や財政の見通し、社会動向、現行の基本計画による区の取組について、図やグラフを活用し、分かりやすく作成しました（別紙）。

4 今後のスケジュール（予定）

令和元年	9月	4日	みなとタウンフォーラム全体会
令和2年	3月	下旬	みなとタウンフォーラム提言式
	5月	下旬	港区基本計画策定方針決定

次期港区基本計画策定への区民参画会議ガイド



みなとタウンフォーラムからの提言の現行基本計画への反映例（つづき）

<提言>

<基本計画への反映>

<平成30年度の事業実績>

地域主体の防災まちづくり

港区の防災士講座で資格を取得した人が地域の町会・自治会、地域防災組織の防災担当として活動できる支援等、防災士が町会・自治会に関わりやすい仕組みを構築する。
【第3グループ（地域コミュニティ・防災・生活安全分野）】

地域防災を担う人材の育成

防災住民組織の防災力の強化を図るため、地域の防災活動などを支援する人材として、「防災士」を育成します。さらに、防災住民組織で活動する人材の知識や技能の向上、地域での活動へ参画するきっかけづくりを行います。

防災士有資格者を対象とした研修会において、地域への参画を啓発しました。

自転車利用者のルールの徹底とマナーの向上

自転車の危険性をきちんと認識してもらうため、自転車利用時のルールやマナーに関して、集中的なキャンペーンを実施するなど周知を図る。
【第1グループ（街づくり分野）】

交通安全意識の高揚

学校や警察署、交通安全協会との連携を深めた交通安全への取組に加え、タクシー業界や区内事業者へも協力と啓発活動を図ります。

保育園や小中学校で警察署と連携し交通安全教室を実施しました。また、広報紙へ記事掲載や、警察署が行う街頭キャンペーンに参加し交通安全意識の高揚を図りました。

町会・自治会活動支援者の斡旋の仕組みづくり

地域活動への入口として、東京2020大会に向けた準備といった若者が興味を持ちやすい内容から地域活動に巻き込んでいく。
【第3グループ（地域コミュニティ・防災・生活安全分野）】

あらゆる世代のコミュニティ活動への参加促進

あらゆる世代が参加しやすいイベントの実施などにより、コミュニティ活動への積極的な参加を促進するとともに、コミュニティ活動の活性化を推進します。

各地区で、「ふれ愛まつり」、「AZABU WORLD FESTA」、「地域デビューのつどい」など、地域と連携して子どもから高齢者まで参加できる様々なイベントを実施しました。

先端技術の活用

優れた技術を持つ区内中小企業が世界に通用する企業（産業）に発展するよう、先端技術を持つ企業等との連携を促進し、マーケティングの拡大や効果的な情報発信をできるように支援する。
【第4グループ（産業・国際化・観光・文化分野）】

最先端技術を活用した事業展開支援

IoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）、ロボットなどの最先端技術を活用した、新製品・新技術に係る研究開発、事業展開、販路拡大を支援します。

企業間連携交流会・分科会（セミナー）を年4回開催しました。セミナーでは、AI等の最先端技術を有する企業や学校等が登壇して講演を行いました。

（子育て）ICTを活用した情報提供について

子育てに関する情報を統合・集約する。まちの掲示板に掲げられている情報をメール等で発信する。
【第5グループ（子育て・教育・スポーツ・人権・平和分野）】

子育て情報提供の充実

メールマガジン「きらっと☆」や「港区出産・子育て応援メール」の配信により、タイムリーな子育て情報を発信していきます。

出産・子育て応援メールに延べ926件の新規登録がありました。通常のメール配信のほかに、子育てに関する様々な情報を全庁的に募集し、毎月配信しました。

（スポーツ）情報について

港区内にあるスポーツ団体の情報を積極的に発信する環境づくりに取り組む。
【第5グループ（子育て・教育・スポーツ・人権・平和分野）】

スポーツ・レクリエーション情報の提供

施設予約、利用案内などの活動場所に関する情報、教室・講座など開催事業に関する情報、団体の活動情報などスポーツに関する情報を幅広く区民に提供します。

当日を含む3日間の館内各競技場・武道場スケジュールをホームページで毎日更新しました。その他、必要に応じ、イベント情報やスタジオレッスンの代行のお知らせ等を更新しました。

介護する家族への支援

家族が介護から離れるためのサービスを充実する。
【第6グループ（福祉・保健分野）】

小規模多機能型居宅介護施設の整備

高齢者の様態や希望に応じて「通い」「訪問」「泊まり」を組み合わせた介護サービスを提供するため、民設民営により小規模多機能型居宅介護施設を整備します。

介護にあたる家族への支援

介護サービスや高齢者福祉サービスの充実を図りながら、介護家族への支援と負担の軽減に取り組めます。

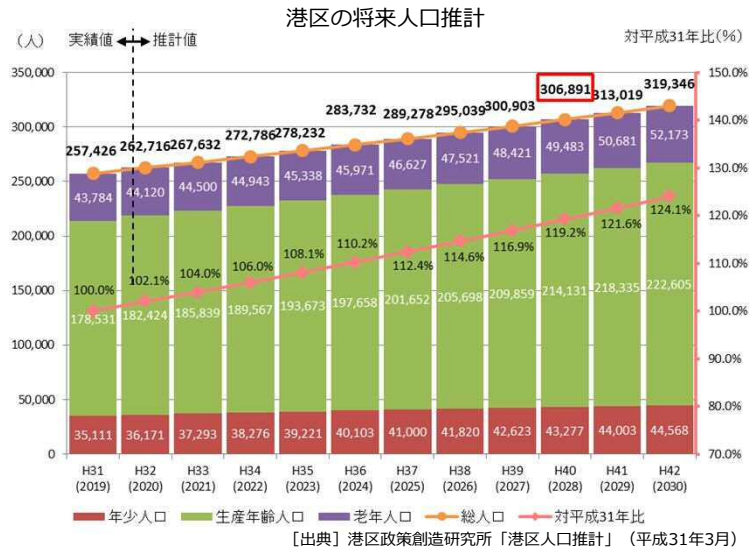
高輪三丁目新たな小規模多機能型居宅介護施設の工事に着工しました。他4か所でも、整備に向けた調整を進めています。また、介護家族の会等を定期的で開催するとともに、介護家族サポーター講座を実施しました（受講者数101名）。

分野別計画へのみなとタウンフォーラムの提言の反映先



<港区の人口>

区の将来人口は一貫して増加し続け、令和8年度(令和9年1月1日)には30万人を突破する見込みです。



港区の人口は、今後も年少人口、生産年齢人口及び老年人口のいずれも増加し、新たな基本計画の最終年度である令和8年度(令和9年1月1日)には、30万人を突破する見通しです。

<港区の財政>

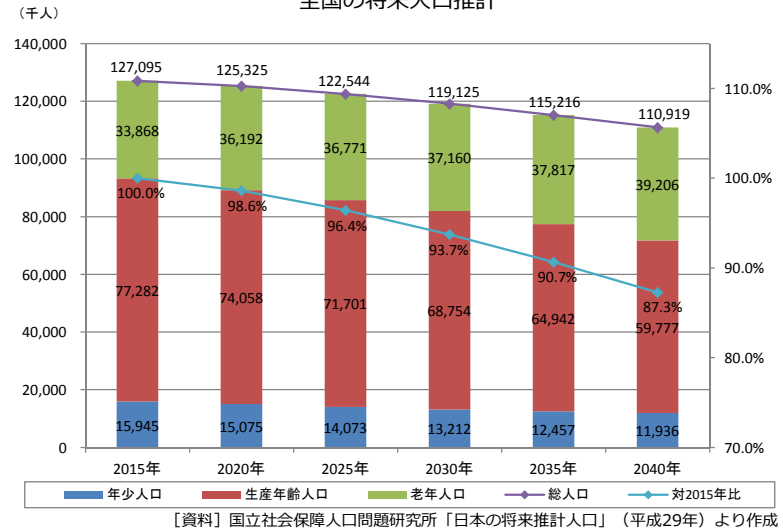
特別区民税収入は堅調に推移していく見通しであるものの、国の不合理な税制改正に伴う減収の影響に加え、公共施設整備等の集中により、歳入の増加以上に歳出が増加していく見込みです。

人口と特別区税収入の見通し



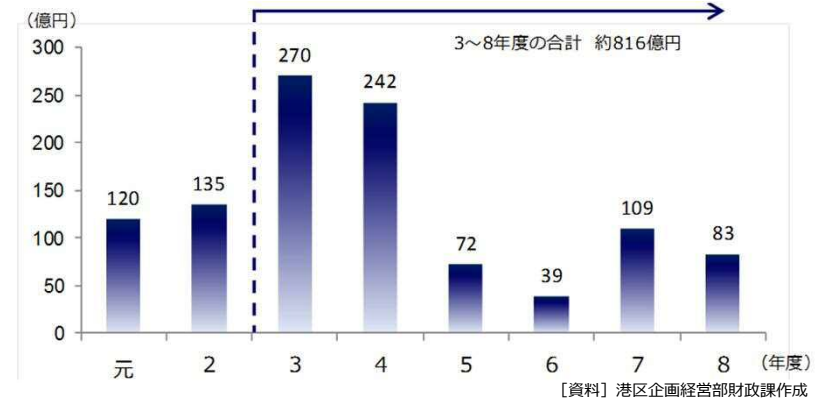
特別区民税収入は、人口の増加等に伴い毎年約15億円増で堅調に推移し、令和8年度には850億円を超える見通しです。しかし、消費税率引上げ時や東京2020大会後の社会経済情勢の影響に留意する必要があります。また、ふるさと納税制度や国の不合理な税制改正による減収が将来的に続く見通しであり、今後更なる減収を強いられる可能性もあります。

全国の将来人口推計



一方で、我が国の人口は、平成20年をピークに減少に転じ、今後も長期にわたり減少し、少子・高齢化が進んでいくと予想されています。

公共施設整備や改修等に要する経費の推移



人口増加に伴う行政需要の増加により、区の経常的な事務事業に係る経費(経常的経費)*1は、毎年対前年度30億円以上は増加し続ける見通しです。また、多くの施設整備が計画されており、令和3年度から令和8年度までに約816億円の投資的経費*2が必要となる見通しです。これまで計画的に積み立ててきた基金の効果的な活用に加え、経常的経費の徹底的な節減に取り組む必要があります。

*1経常的経費：基礎的な行政サービスや施設の維持管理など、恒常にかかる経費 *2投資的経費：建設や災害復旧など、社会資本の形成にかかる経費

<持続可能な社会の実現>

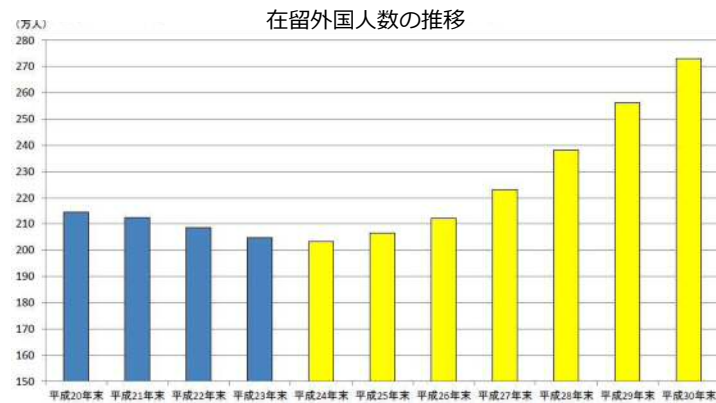
地球環境や自然環境が適切に保全されながら、社会が持続的に維持・発展することが求められています。



SDGs（持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals））とは、2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標であり、持続可能な世界を実現するための17のゴール及び169のターゲットから構成されています。SDGsは発展途上国のみならず先進国も取り組む普遍的なものであり、日本としても積極的に取り組むこととしています。

<国際化の進展>

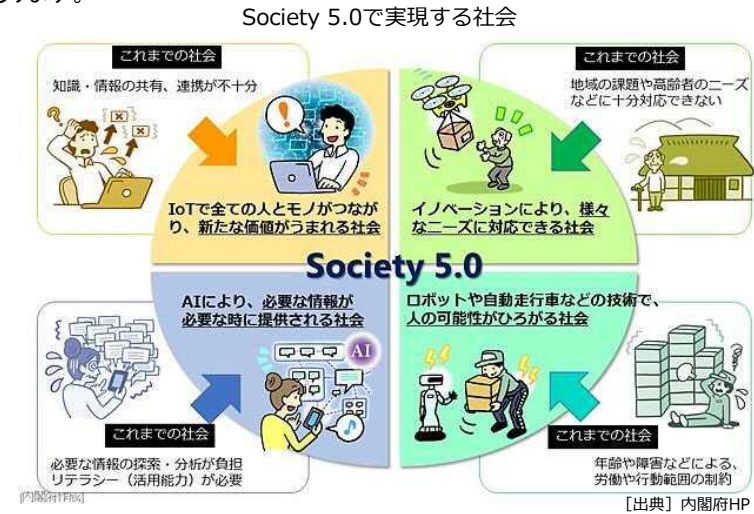
外国人観光客の増加や、企業による外国人人材の受け入れが進むなど、国際化が一層進展することが予測されます。



日本に在留する外国人は、近年、専門的・技術的分野の外国人材のほか、留学生や技能実習生を含め、増加を続けており、平成30年末には過去最多の273万1,093人となりました。訪日外国人旅行者数についても、2018年12月に過去最多となる3,000万人を突破しました。政府は、訪日外国人旅行者数を2020年に4,000万人、2030年には6,000万人とする目標を掲げ、実現に向け、各省庁、民間、各地域が一体となって施策を実行することとしています。

<技術革新による社会の変化>

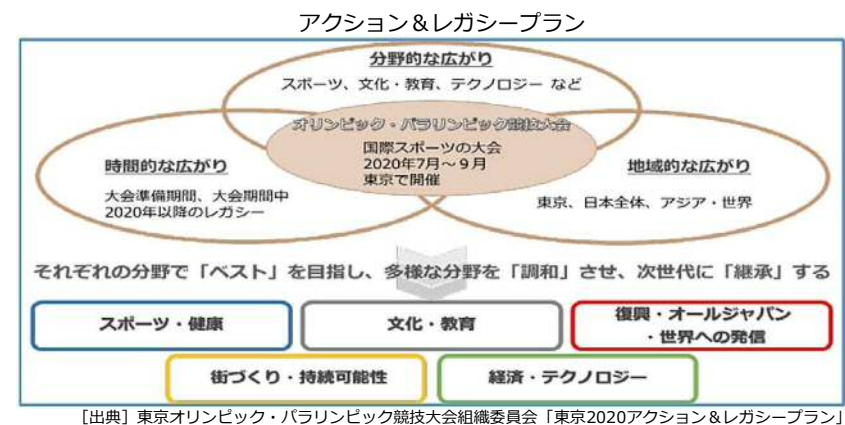
技術革新により、これまでにない利便性の向上や価値の創出など、抜本的な社会変化の可能性があります。



近年、IoT（Internet of Things：モノのインターネット）、ロボット、人工知能（AI）、ビッグデータといった、社会のあり方に影響を及ぼす新たな技術の進展が目覚ましい勢いで発展しています。我が国は、これら先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会であるSociety5.0の実現を目指しています。

<東京2020大会を契機としたレガシーの継承>

東京2020大会をきっかけにした成果を未来につなげる、レガシーの創出のための取組が進められており、次世代を担う子どもたちに継承していくことが求められています。



東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を単にスポーツとしての大会だけでなく、2020年以降も、日本や世界全体に対し、スポーツ以外も含めた様々な分野でポジティブなレガシーを残す大会として成功させるとして、「スポーツ・健康」、「街づくり・持続可能性」、「文化・教育」、「経済・テクノロジー」、「復興・オールジャパン・世界への発信」の5本の柱ごとに、各ステークホルダーが一丸となって、レガシーを残すためのアクションが推進されています。

現行の港区基本計画による区の実組①

現行の「港区基本計画・実施計画 平成30(2018)年度～平成32(2020)年度」で示す区政運営の方向性

<港区ならではの地域共生社会の実現>

区は区政運営の方向性として、「総合支所を中心に、地域の課題を地域の皆で解決し、お互いに支え合う、地域の誰もが安全に安心して心豊かに暮らすことができる港区ならではの地域共生社会の実現」を掲げています。

現在の課題に対して目指すべき姿を示し、実現を目指す区民の暮らしのイメージを描き、その実現に向けて区は取組を推進しています。

現在の課題	目指すべき姿	実現を目指す区民の暮らしのイメージ	実現に向けた区の実組
<p>この子をちゃんと保育園に預けて、仕事復帰できるといいな。</p>	<p>めざすべき姿 その1 誰もが安全・安心に地域で住み続けられる社会</p> <p>子ども、働き盛り世代、高齢者など誰もがライフステージに合わせたサービスが提供され、安全・安心に地域で住み続けられる社会をめざします。</p>	<p>安心して子育てができる 健康に不安なく働き続けられる 住み慣れた環境で暮らせる</p>	<p>子ども家庭支援センター 専門相談 港区がん対策アクションプラン普及啓発イベント 地域サロン</p>
<p>公園の近くにタバコのごみや落書きがあったから、もう少しきれいになるといいな。</p>	<p>めざすべき姿 その2 誰もがルールを守り快適に生活できる社会</p> <p>誰もが参画と協働によってつくり上げた港区のルールとまちのマナーを守ることで、笑顔が行き交い、心地よく過ごせる社会をめざします。</p>	<p>環境にやさしいまちになっている まちのルールが守られている 自発的な地域活動が展開されている</p>	<p>環境美化活動 みなとタバコルール・キャンペーン みんなでまちをよくする ミナヨク</p>
<p>やりがいを見つけたり、気の合う仲間を見つけたりしたいな。</p>	<p>めざすべき姿 その3 誰もが心豊かにいきいきと暮らせる社会</p> <p>活力にあふれ魅力あるまちの中で、誰もが生涯を通じて心豊かに健康で暮らしながら、夢や希望を持ち、日々いきいきと活動できる社会をめざします。</p>	<p>区の魅力が世界に発信されている 元気にみんなと活動できる 自分のやりたいことに打ち込める</p>	<p>V R映像を取り入れた観光P Rイベント みんなと元気塾 地域スポーツ教室</p>
<p>もっと日本の文化に触れたり、地域の人と交流したりしたいな。</p>	<p>めざすべき姿 その4 誰もがお互いを尊重し、共に支え合う社会</p> <p>平和や人権、生活習慣や文化、価値観などの多様性や人格と個性を互いに尊重しながら、共に支え合う社会をめざします。</p>	<p>みんなが一つになれるイベントがある 災害時でも安心して行動できる</p>	<p>MINATOシティハーフマラソン 港区国際防災ボランティア 通訳・翻訳対応訓練</p>

現行の港区基本計画による区の実組②

<公共施設の整備>

公共施設については、平成29年3月に策定した「港区公共施設マネジメント計画」で掲げた4つの基本方針に基づき整備を進めています。

【基本方針1】公共施設の安全・安心を強化するため、計画的な整備・改修を推進する

利用者の安全・安心や災害対応、環境配慮、バリアフリーなど、公共施設への社会的要請に応え、必要な機能・性能を確保するため、公共施設を計画的に点検、改修又は更新し、人と環境にやさしい公共施設の更なる推進を図ります。

【基本方針2】充実した行政サービスを継続するため、柔軟性を持った施設整備を行う

人口増加に伴う施設需要の増大や区民ニーズの多様化に適切に対応し、質の高い行政サービスの水準を継続的に確保するため、区有地・区有施設の有効活用や戦略的な土地の取得、状況に応じた最適な施設整備手法の選択を図ります。

【基本方針3】公共施設に係る財政負担を軽減・平準化し、盤石な財政基盤の堅持に貢献する

公共施設に関する質と量の両面の要請に対応するため、公共施設に係る財政負担を長期的視点から軽減・平準化します。イニシャルコストの抑制やランニングコストの削減策を検討するとともに、区有財産の有効活用を進め、将来的な区の財政負担軽減と盤石な財政基盤の堅持に貢献します。

【基本方針4】公共施設の総合的管理に向けた体制を整備し、戦略的マネジメントを実践する

専管部署による情報の一元管理とマネジメントのコントロールを行い、取組を推進するための全庁横断的体制を構築します。また、点検・改修履歴の活用、既存システムとの連携・活用、PDCAサイクルによるマネジメントの実効性・継続性の確保など、公共施設マネジメントを推進するための仕組みを検討します。



(仮称) 港区子ども家庭総合支援センター外観図(案)



南麻布四丁目福祉施設



(仮称) 港区立科学館

公共施設の整備に当たり、人口動向の変化や区有施設の利用率の推移、再開発の動向等を踏まえ、施設需要の将来予測を実施し、施設の適正な整備を行います。また、整備過程において、これまで以上に区民の理解を得られるよう、住民説明や住民意見の反映のあり方について検討を進めていきます。

<「参画と協働」の実組の充実>

地域コミュニティにおける様々な課題に対し、行政と区民との協働に加え、新たに民間や全国各地域との連携を活用し、都心区としてふさわしい「参画と協働」の実組を充実しています。



地域防災を担う人材の育成
(防災士養成講座)



緑のカーテン講習会



コミュニティ活動・交流の拠点
(旧協働会館の改修)



開発を契機とした交流の場づくり



オープンデータの活用の推進
(オープンデータアイデアソンキャラバン2018)

<行政、区民、民間、全国各地域の4つの力を活用した施策の推進>

従来から取り組んできた行政・区民の連携を深化させるだけでなく、民間や全国各地域など多様な主体とのネットワークを全庁で共有し、分野を越えて横断的に活用することで、区民、民間、全国各地域との更なる連携を推進します。



区民・企業等との防災訓練の様子



企業連携「70周年記念啓発品の作成」



全国連携「区庁舎での茨城県阿見町の野菜の販売とPR」



にぎわいをみせる全国交流物産展in新橋

次期港区基本計画策定に向けたスケジュール(案)

